



あしょろ

No.191

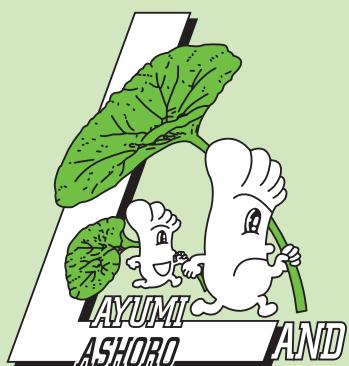
議会だより

2017.11

北海道足寄郡
足寄町議会発行



幼児から大人まで365人が参加した町民マラソン大会（10月9日）



予算・条例等の審議内容

2~4ページ

一般質問（5議員が登壇）

5~9ページ

議会の動きなど

10ページ

第3回定例会

第3回定例会は9月5日から15日までの11日間の日程で開催され（6～12日は休会）、初日は議長の諸般の報告、町長からの行政報告を受け、その後、報告2件、人事案2件、条例改正案5件、意見書案2件、その他3件を審議（関連記事2～3頁）し、議案は、原案どおり同意、可決され、意見書案2件については総務産業・文教厚生の各常任委員会へ付託され、会期中の継続審議となりました。

13日は、5名の議員による一般質問（関連記事5～9頁）が行われました。

翌14日は平成29年度補正予算の提案理由の説明を受けた後、即決で審議し、原案どおり可決されました。

この日の追加日程で、平成28年度の健全化判断比率及び資金不足比率の報告、平成29年度補正予算の提案理由の説明、平成28年度の各会計決算認定の提案理由、その他1件の説明がされ、各会計決算認定は、平成28年度決算審査特別委員会（関連記事3頁）に付託し、閉会中の審査となり、その他、継続審議となつていた意見書案2件と、委員会が提出した意見書案2件などを原案どおり可決・承認し、会期を1日残し、閉会しました。

予算審議

◆一般会計補正予算	会計の補正予算は、9月14日に即決で審議され、原案どおり可決されました。可決された予算の主な内容は次ぎのとおり。
・介護福祉士実務者研修受講料等補助金	農家給水施設補修事業補助金
・介護従事者就業支援等補助金	（熊澤議員質疑あり）
・昭和地区簡易給水施設配管移設工事	△2億7000万円
△3502万6千円	



改修される大誉地寿の家

条例審議

人事

◆足寄町土地開発基金条例の一部を改正する条例

基金の額を1604万7千円から3324万7千円に改めるもの。

◆足寄町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

9月26日任期満了となる公育委員会委員岡田美子さん（54歳南4条6丁目）の再任に同意しました。任期は4年。

◆教育委員会委員の任命

10月10日任期満了となる教育委員会委員横田嘉之さん（82歳南7条3丁目）の再任に同意しました。任期は4年。

報告

告

◆足寄町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

関係法令の改正により、文言等を整理したもの。

◆予定価格1千万円以上の工事又は製造の請負契約の締結

平委員会委員横田嘉之さん（82歳南7条3丁目）の再任に同意しました。任期は4年。

◆足寄町水道事業の業務に関する予定価格1000万円以上の工事又は製造の請負契約の締結

以上の中の工事又は製造の請負契約の締結

◆足寄町新規就農者等誘致促進条例の一部を改正する条例

認定期間の延長と国の事業名の変更による文言の整理をしたもの。

◆平成28年度足寄町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、健全化判断比率及び資金不足比率を報告するもの。

◆足寄町営住宅管理条例の一部を改正する条例

関係法令の改正により改めるもの。

健全化判断比率

指標	足寄町	早期健全化基準
実質赤字比率	—	14.68%
連結実質赤字比率	—	19.68%
実質公債費比率	8.6%	25.00%
将来負担比率	△28.7%	350.00%

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」で表示しています。

資金不足比率

特別会計等	足寄町	経営健全化基準
上水道事業	—	20.00%
国民健康保険病院事業	—	
簡易水道	—	
公共下水道事業	—	

※資金不足額がないため、「—」で表示しています。

平成29年度 各会計別補正額

会計別	補正額	総額
一般会計	159,624	10,283,323
特別会計	国民健康保険事業	24,653
	介護保険	20,175
	介護サービス事業	985
後期高齢者医療	183	109,728
上水道事業会計	2,025	268,768

その他

提出者 高橋健一議員
意見書
◆「全国森林環境税」の創設
にに関する意見書

議会運営委員会
委員長 柳原深雪

◆林業・木材産業の成長産業化を求める意見書
議会運営委員会
委員長 柳原深雪

◆北海道市町村職員退職手当規約の変更について
議会運営委員会
委員長 柳原深雪

◆害補償等組合規約の変更について
議会運営委員会
委員長 柳原深雪

◆北海道町村議員公務災害補償等組合規約の変更について
議会運営委員会
委員長 柳原深雪

◆農地・農業用施設災害復旧事業の施行について
議会運営委員会
委員長 柳原深雪

◆都へ議員4名を派遣するもの。
・東京と足寄を結ぶ・ふるさと会
10月28日～29日まで、東京
都へ議員3名を派遣するもの。
11月7日に更別村へ議員全員を派遣するもの。

◆議員派遣の件
・札幌足寄会
10月14日～15日まで、札幌

◆荒廃の進む森林環境を整備し、水源確保など森林の公益的機能を守るための費用を、広く薄く税を徴収することにより賄い負担しようとする税制度。既に複数の自治体で導入がされてい

◆2百万人近く増加、失業率は4～3%程度まで低下した。

◆また、賃上げについても3年連続で2%以上となるなど、

◆2百万人近く増加、失業率は4～3%程度まで低下した。

◆また、賃上げについても3年連続で2%以上となるなど、

◆2百万人近く増加、失業率は4～3%程度まで低下した。

◆また、賃上げについても3年連続で2%以上となるなど、

◆2百万人近く増加、失業率は4～3%程度まで低下した。

◆また、賃上げについても3年連続で2%以上となるなど、

◆2百万人近く増加、失業率は4～3%程度まで低下した。

◆適正な地方財政計画の策定を求める意見書

提出者 田利正文議員

◆介護保険の負担増及び介護抑制策の導入中止を求める

議員が参加をした札幌足寄会

28年度決算を審査

第6次総合計画に基づいた町づくりの実現に向けて取り組まなければならない。

また、昨年発生した台風・大雨災害による水害により、

平成28年度決算では、災害復旧費が前年比107百万円以上増加し、翌年度繰越額にも

災害関連で85百万円程度が計上され、完全なる復旧まではまだ時間を要すると推測され

る。先の災害は「50年に一度の大震」と言われているが、

いつ来るか分からぬ災害に對しての準備は怠ることのないよう配慮願いたい。

いずれにしても、限られた財源を最大限に効果的かつ効率的に活用し、基幹産業の発展や住民福祉の増進に努めら

れるとともに、今後も住民が安心して暮らせる町づくりを推進していただきたい。

この意見がつけられました。

同議案は議長、星議員（監査委員）を除く11名の議員で構成する「平成28年度決算審査特別委員会」を設置し、議

会閉会中の審査としました。同委員会の正副委員長には次の方々が互選されました。

委員長 高橋秀樹 副委員長 高橋秀樹

一般質問 5議員が登壇

一般質問の質問内容及び答弁内容は要約してあります

これから足寄町を担う次世代の若者が夢を持って住み続けたいと思ふ足寄町を創るための雇用と人材確保策について



高橋 健一 議員

足寄町の農業の現状と将来の可能性について

高橋議員 足寄町の農業にとつて明るい材料の一つに「味のちぬや」のじやがいもの貯蔵施設があります。じやがいもの貯蔵庫の求人は10人のみ。貯蔵庫の隣に生産ラインを作つて、足寄産のコロッケを作ることはできないか。また、求人の意味は。

町長 最初、製造までやつてくれる方針で現状では難しい。ただ、ちぬやさんが直営でじやがいもの栽培を手掛けたいといふことで、今後の事業展開には期待している。

高橋議員 バイオガスプランの現状と将来の可能性について説明して頂きたい。

町長 バイオガスプラントは、これまで厄介者扱いされてきた家畜、とりわけ乳牛の糞尿を処理して、発生するガスで発電をしたり、残った液肥を肥料として利用する一石五鳥の自然エネルギー施設です。足寄町のバイオマスプランは農協さんが事業主体で進めた事業で、国の補助金が採択され、29年度単年度の事業計画でしたが、結果的に

は、29年度、30年度の2か年の事業になりました。想定している総事業費は約13億円、実際に補助金として頂けるのは3億円くらい。

設備に補助対象外の部分もあつて、克服しなければならない課題もあります。農協さんとも連携をしながら、無事に稼働できるように、町として支援できる部分は最大限支援していきたい。

足寄町の林業の現状と将来の可能性について

高橋議員 町長が打ち出したウッドバレーあしょろ、足寄町バイオマстаун構想があります。その中にCLT（直交集成材）を使って足寄町を林業の町に押し上げようという構想がありますが、この構想について実現性を含めて説明願いたい。

町長 CLTは厚さ数センチの細長い板を縦横に組み合わせた大型パネル。軽量で強度が強く、欧米では中高層の商業施設や集合住宅に使われています。将来的にはこのCLTの工場を足寄町に誘致した

が、実現すれば多くの雇用の場が生まれますね。このCLTを活用したビジネスホテル建設の計画があるが、この実現性は。

町長 この事業は、現在、具体的に進行中。ホテルは2階建てで、町内業者が市街地に来年度に完成予定です。道産材のカラマツのCLTを使用し、町は環境省の補助金を申請して、建設を支援します。

足寄町の福祉の現場の問題と将来の可能性について

高橋議員 超高齢化社会を迎える、福祉の現場に、若者の力が不可欠になつてきています。しかし、福祉の現場は、3Kどころか5Kだと言われています。汚い、きつい、給料が安い、さらに、暗い、臭いが加われば、だれも集まらない

れつじ、民間の事業所でも、やりがいがある、楽しいとう声が聞かれるほどで、5Kのイメージはありません。人材確保のために、足寄町では、現在3つの介護職員に対する支援策を行っています。一つめは、足寄町介護福祉士修学資金貸付事業、2つ目は、足寄町介護従事者修学補助金事業、3つ目は介護福祉士の資格取得に必要な研修受講料の補助金交付。さらに、町民や足寄高校生が無料で受講できる介護職員初任者研修を実施しています。

高橋議員 新しい介護の5Kは、きれい、かつこいい、給料が高い、健康になる、感謝されるです。悪いイメージが先行しないように、小中学生のころから先駆けて、現場体験を、教育の現場で行うことはできないか。

教育長 現実的には、そういう体験は、計画的に継続的にはやつていないと私は思います。ただ、私としては、義務教育の段階から、高齢化社会に向き合うための職業意識や取るべき言動などは、教育現場でしつかりと教育していくことが大切だと思っています。

町長 少なくともわが町では、特別養護老人ホーム、むすび

れつじ、民間の事業所でも、やりがいがある、楽しいとう声が聞かれるほどで、5Kのイメージはありません。人材確保のため、足寄町では、現在3つの介護職員に対する支援策を行っています。一つめは、足寄町介護福祉士修学資金貸付事業、2つ目は、足寄町介護従事者修学補助金事業、3つ目は介護福祉士の資格取得に必要な研修受講料の補助金交付。さらに、町民や足寄高校生が無料で受講できる介護職員初任者研修を実施しています。

高橋議員 新しい介護の5Kは、きれい、かつこいい、給料が高い、健康になる、感謝されるです。悪いイメージが先行しないように、小中学生のころから先駆けて、現場体験を、教育の現場で行うこと

れつじ、民間の事業所でも、やりがいがある、楽しいとう声が聞かれるほどで、5Kのイメージはありません。人材確保策について、足寄町では、現在3つの介護職員に対する支援策を行っています。一つめは、足寄町介護福祉士修学資金貸付事業、2つ目は、足寄町介護従事者修学補助金事業、3つ目は介護福祉士の資格取得に必要な研修受講料の補助金交付。さらに、町民や足寄高校生が無料で受講できる介護職員初任者研修を実施しています。

教育長 現実的には、そういう

体験は、計画的に継続的に

はやつていないと私は思

います。ただ、私としては、義務教育

の段階から、高齢化社会に向

き合うための職業意識や取

るべき言動などは、教育現場で

しつかりと教育していくこと

が大切だと思っています。

乳がん対策について



高道洋子議員

高道議員 每年10月は、乳がん撲滅へ向けた早期発見、早期治療を啓発するピンクリボン月間です。女性特有のガンである乳がんを患う日本女性は11人に1人と言われており、女性の30歳から64歳で乳がんが死亡原因のトップとなつております。

厚労省の調査では、乳がんで亡くなる女性が昨年には1万4013人と増加を続け、今から37年前と比べると実に3倍以上になつております。乳がんは他のガンとは違い、自分で発見できる唯一のガンです。又早期発見して治療すれば、90%以上の方が治ると言われています。そこで以下の点について伺います。

①本町における直近3カ年の乳がん検診の受診率と目標値との対比について。

町長 乳がん検診の目標値は各年度40%のところ平成26年度は30・4%、27年度は27・8%、28年度は35・9%となつております。

2点目の直近3カ年の乳がん罹患者は国保データベースシステムにおける被保険者千人当たりのレセプト件数で平成26年度は1・6件、27年度は1・4件、28年度は1・9件です。死亡者数は26年度は1名、27年度は2名、28年度は1名であります。

3点目の乳がん検診無料クーポン券は、26年度の交付対象者は549人のところ未利用者が522人、27年度は交付対象者265人のところ未利用者は218人、28年度は交付対象者117名のところ未利用者は93人と、未利用者が非常に多い事から、未利用者の理由を調査するとともに、

福祉課長 まず、今年から新たにPETの乳がん検診の支援を始めました。1万円の助成をして、受診の促進を促す。今後は集団検診で足寄町内では一発でその日にやる他に、好きな時間、好きな日時に帯広の病院で、クーポン券を交付しますので、少ない負担で支援策を講じております。

高道議員 早期発見のために、自分の乳房を見て、さわって知つておくことが大事です。10代の時から乳がんに対してもう一つ大切なことは、関心を持つてもらうためのセルフチェックをする際に使用する、補助的用具を取り入れてみてはどうか提案したいと思います。自己検診用乳がんグローブです。手にはめて乳房を触る事で、素手より鋭敏に病変にも気づける可能性があると言われています。乳がん自己検診用のグローブを取り入れるべきと考えますが、

福祉課長 今年度からクーポン券を好きなタイミングで受けて頂く、使用しやすい形で整えているところです。きちんと発表した広報と、分析はこれからも行う必要があると考えております。

高道議員 乳がんを含め、ガンの治療を受けながら働き続けるために医療用のかつら、とか40歳から60歳までクーポン券とか、管内でも乳がん検診は一切無料とかの町もありますが、検討されているのか。足寄町はそのような考えはあるのか、検討されているのか。お知らせ下さい。

福祉課長 新たに来年また拡大するというところは、今のことろ考えてはいらない。

高道議員 早期発見のために、自分の乳房を見て、さわって知つておくことが大事です。10代の時から乳がんに対してもう一つ大切なことは、関心を持つてもらうためのセルフチェックをする際に使用する、補助的用具を取り入れてみてはどうか提案したいと思います。自己検診用乳がんグローブです。手にはめて乳房を触る事で、素手より鋭敏に病変にも気づける可能性があると言われています。乳がん自己検診用のグローブを取り入れるべきと考えますが、

※ピンクリボンとは

乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進すること、などを目的として行われる世界規模の啓発キャンペーンもしくはシンポジウム

検診の必要性をわかりやすく伝え、個別勧奨等を粘り強く行う必要があると考えております。

福祉課長 今年度からクーポン券を好きなタイミングで受けて頂く、使用しやすい形で整えているところです。きちんと発表した広報と、分析はこれからも行う必要があると考えております。

福祉課長 今回ご提案頂いた内容を吟味し、情報提供といふ部分でやることはやぶさかではなく、調査研究は今後も続けていきたいと考えています。

北朝鮮による核及びミサイルの実験について



熊澤芳潔議員

北朝鮮によるミサイル発射実験で06年7月5日、北朝鮮がスカッド、ノドン等計7発を日本海に向けて発射したと発表、16年2月7日、17年9月1日、そして17年8月29日にはミサイルが北海道上空を通過と発表された。また北朝鮮は太平洋への発射は継続方針とされ、17年9月3日には6回目の核実験に成功したと発表された。これに対し、足寄町としても何らかの対応が求められるかと思い、17年8月29日のミサイル発射時の足寄町の対応について。

二、核及びミサイルを想定した住民への周知と避難訓練の計画について。

な建物への避難が放送されたが、足寄町では頑丈な建物といつても考えられないと思うがどう考えるか。

四、今回のミサイルは、北朝鮮発射から太平洋上への着弾が12分と思われるが、不慮の事態が発生した場合は数分で着弾、落下が考えられる。弾道ミサイル落下時の行動について、都道府県の中では行動についてそれぞれ発表されていいる地域があるが、町として弾道ミサイル落下時の行動についての住民への周知などをどのように考えているか。

町長 一の対応ですが、当日は国からのJアラートにより、自動的に町の防災行政無線放送が起動し、国の定型文が放送される。この放送配信を受け、副町長及び国民保護担当職員7名が登庁、情報収集と十勝総合振興局に被害状況の有無及び防災行政無線放送による住民への情報伝達実

施など報告を行った。

二、4月下旬及び5月下旬の核に関する部分については記述をしておりませんが、「弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にるべき行動について」を自治会回覧及び町ホームページにおいて住民周知を行つており、現時点で訓練の実施は計画していないが、今後、道等とも相談をさせていただきたい。

三、放送内容は国で定型文を準備した全国統一のもの。

本町に頑丈な建物は存在しておらず、仮に頑丈な建物が存在していてもミサイル発射から極めて短時間の間に多くの町民が避難することは困難。弾道ミサイルが本町を直撃した際には甚大な被害は避けきれないが、屋外にいる場合は物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る、屋内にいる場合には窓から離れるか窓のない部屋に移動する等の行動をとることにより、被害を最小限に抑えられると考えております。

四、緊迫する北朝鮮状況を受け、自治会回覧等により積極的に情報提供を行つてまいりました。

Jアラートが市町村との中でも瞬時に伝わるのか。何となくずれていたような感じもあつたのだが、着弾、落下が瞬時に発表されないと大きな問題になるので、それがなかつたのかお聞きしたい。

熊澤議員 9月3日に、町の災害訓練があり、政府からのJアラートですぐ瞬時に連絡があつたのですが、スマホなり携帯なり、また町から

のほうからも通知が来ており、それに基づいて教育委員会としても、校長会にかけて的確、適正な対応をとれるようにしていきたい。

総務課長 Jアラートにつきましては、町の防災行政無線を瞬時に経由して鳴つておりますが、緊急速報メールについても、消防庁から衛星通信を通じて、各携帯電話会社を通じて鳴つておりますし、機器の型式、設定の仕方にもよりますので、私のほうでは把握しておりません。

熊澤議員 行政は町民の生命と財産を守る義務があるので、と思いますので、緊張感を持つて対策、対応に当たつていただければと思います。

足寄高校への給食提供における

課題と対策について



議員 深雪 原 榊

議会の文教厚生常任委員会でも提言してきました。

生徒の確保第一として、給食が無償提供され2年にな

榎原議員 足寄町給食センターは、昨年12月に、全国学校給食甲子園で北海道・東北ブロック代表に選ばれ出場し、地場食材を生かして日本一の栄冠に輝きました。

学校給食の効果として、
①育ち盛りの全員が栄養のバ
ランスを考慮した食事が食べ
られる。

②共稼ぎ世帯が多くなつてゐることから、弁当づくりが楽になる。

③冬でも温かい昼食が食べられる。

④同じ場所で同じものを食べることで、偏食の克服とコミュニケーションが図られるなど、給食が食育の一環になつていふと思ひます。

教育長 小中学校の義務教育における学校給食の提供については、学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであると規定されている学校給食法に基づくものであります。

桙原議員 育ち盛りの小中学
生にとって、健康な歯で食べ物を正しくそしやくし、必要な栄養を吸収することは大切なことと捉え、足寄町健康づくり計画（第二次）に盛り込まれています。

足寄町健康づくり計画 における12歳児の 永久歯齶蝕歯評価指數の 状況と今後の対応は

足寄高校の給食に牛乳が提供されていない理由について
は、事前に足寄高等学校が牛乳の提供を含めた生徒へのアンケートを実施した中で、高校と協議の結果、牛乳の提供を見送ったところです。

ておりますが、高等学校等義務教育以外の給食の提供は規定されておりません。

2歯よりは多い状況です。また齲歎有者率は57%となっています。

① 12歳児の一人平均虫歯数の推移。

② 12歳児虫歯有病者率の推移と治療完了者率の推移。
③ 12歳児の28年度における十勝圏域の順位。

4点目の北海道の28年度12歳児一人平均虫歯本数は何本かについては、1・1本となっています。

④ 北海道の28年度、12歳児
一人平均虫歯本数は何本か。
これらの数値を踏まえて、
今後の対策について伺います。

基本となる歯の健康の重要性について掲載するとともに、その内容を広く住民にお知らせしたいと考えています。

度3・29本、平成25年度2・07本、平成26年度0・34本、平成27年度0・54本と増減を繰り返しながら減少傾向でしたが、平成28年度は1・47本です。

の72%をピークに増減を繰り

返し、平成28年度には38%になつており、治療完了者率は平成23年度の64%から増減を繰り返し、平成28年度は8%

子育て支援の効果と

今後の方針について



田利正文議員

し予定額3250万円を引いても、今後10年程度は継続可能と考えており、今後は、事業の効果を検証し必要に応じた制度の見直し等、支援策の充実を図っていく。

修学資金貸付金の 拡充について

田利議員 本町は保育料、給食費、学習塾の無料化等、子育てのしやすい町として評価を得ています。開始して間もない施策ですが、現時点で具体的な効果が表れているのか、この支援体制がいつまで続けられるのか、という声もあります。重要な面積なので重なります。

畠長 人口増に繫びて具体的な数値は把握していないが、足寄高校への入学者が増加し、1学年2間口が確保できた事は、本施策の効果と思っていきます。

5億円の子育て安心基金を創設し、この基金残高は4億7106万円、今年度取り崩

に専門職がいなくて困るという事がないよう、制度を知らせていく必要がある。現在の周知方法と制度導入後の人員確保の見通し、修学中は授業料以外に居住費、生活費等も掛ると思うが、増額を検討できなかいか。医療・福祉だけで

田利議員 足寄町に住み続けれられる条件として、働く場・仕事を確保する事が非常に重要。

のあり方について 畜長の所見を伺います。

確保の見通し、修学中は授業料以外に居住費、生活費等も掛ると思うが、増額を検討できなかいか。医療・福祉だけでも

町長 この制度は、足寄高校を卒業し、介護福祉士の資格取得を目指す方を対象としており、昨年は足寄高校及び十勝管内の介護福祉士養成施設の教職員へ説明に伺い、生徒・学生への周知を依頼してきた。今年度は、足寄高校生へチラシ配布や足寄町ホームページに掲載、高校で説明を行つた。今後も高校等と連携し、介護人材の確保に向けた周知を行っていく。他に介護従事者就業支援等補助金事業や介護福祉士実務者研修受講料等補助金事業等も実施して、人材確保対策をしている。北海道社会福祉協議会にも貸付制度があり本町の制度と北海道社会福祉協議会の制度を併用する事で、入学金、授業料、家賃、教材費等はおおむね賄うことでき、食費や光熱水費等生活費を自己負担する事で就学が可能と考えている。

自営業者に対する
支援策と仮称街づくり

田利議員 足寄の経済を支え
てきた自営業者に後継者ができた時、それを支援する制度が必要ではないか。それにより後継者不足の改善、後継者が仕事に誇りを持ち、地域社会が自分を認めてくれ、必要な仕事だと自覚できる事が大切ではないか。町内の自営業者に対する支援策・制度設計が必要と思うが、町長の所見を伺いたい。

町内には様々な町おこしのグループや団体があり、それぞれの知識・考えを持ち寄つて町づくりの為に何が出来るか交流し、計画を立て行動する事が大切だと思う。

代表に集まつてもらい、足寄の10年・20年後を展望し、今何ができるか、何をしなければならないかという視点で町作り会議（仮称）を組織できないか。

先行例としてオングループ委員会があり、オングループを生かした町づくりを掲げています。最初の集まりの呼びかけを行政側からやつていただき、ただけないかと考えていますが、この件について町長の所見を伺います。

町長　自営業者に対する支援としては、小規模事業者支援法に基づき、足寄町商工会で伴走型支援を実施しており、小規模事業者の経営分析、経営計画策定、市場調査新たな販路開拓の支援を行う事で、持続的経営発展を確立する目的で実施されている、

議員仰せのとおり、様々な分野の方々の知識・考え方を持ち寄つて、町づくりに生かす事は有効な事だと認識しており、足寄町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、総合戦略を推進する為の体制として、各団体等で中心的役割をされている方、組織を牽引している方、まちづくりに意欲のある方等で構成する「仮称」足寄未来創生委員会を設置する事にしており、設置に向け検討していきたい。

議会の動き

〈8月〉

- 7日 第3回臨時町議会・議会運営委員会
広報広聴常任委員会
21日 道議長会広報研修会（～22日、札幌市）
28日 総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会
30日 津別町議会産業福祉常任委員会行政視察来町

〈9月〉

- 4日 議会運営委員会
5日 第3回定例町議会・総務産業常任委員会
文教厚生常任委員会
8日 議会運営委員会
13日 第3回定例町議会・議会運営委員会
14日 第3回定例町議会・議会運営委員会
28日 議会運営委員会
29日 第4回臨時町議会・議会運営委員会
総務産業常任委員会・広報広聴常任委員会

〈10月〉

- 10日 総務産業常任委員会行政視察
(～12日、新潟県長岡市、三条市)
奈井江町議会行政視察来町
13日 十勝町村議會議長会役員会
14日 札幌足寄会（～15日）
16日 文教厚生常任委員会
24日 平成28年度決算審査特別委員会
広報広聴常任委員会
25日 平成28年度決算審査特別委員会
広報広聴常任委員会
26日 平成28年度決算審査特別委員会
文教厚生常任委員会
28日 東京と足寄を結ぶ・ふるさと会（～29日）
30日 別海町議会総務文教常任委員会行政視察

第4回定例会の日程

第4回定例会は12月5日開会
一般質問は13日からの予定です



議会報告会のお知らせ

- 11月6日（月）午後7時
芽登生活改善センター
11月7日（火）午後7時
わらん路の里
11月16日（木）午後7時
上利別基幹集落センター
11月17日（金）午後2時・午後7時
消防庁舎2階（2回開催）

（木村副委員長記）

の上お越しください。

閉会中の所管事務調査

常任委員会は、閉会中も引き続き次の所管事務を調査研究します。調査研究の内容は、次号以降でお知らせする予定です。

総務産業常任委員会

- ①空き屋の実態と対策について
- ②農作物の生育状況調査について
- ③防災対策について
- ④土木・建設工事の執行状況について

文教厚生常任委員会

- ①ごみ処理の広域化について
- ②共生型福祉のあり方について

広報広聴常任委員会

- ①議会広報紙の編集及び発行に関する事項
- ②議会広報・広聴の実施に関する事項
- ③議会広報・広聴の調査、研究に関する事項
- ④足寄町議会ホームページによる広報に関すること
- ⑤足寄町議会の放映による広報に関すること

議会運営委員会

- ①議会運営について
- ②議長の諮問に関する事項について



3月、6月、9月、12月の年4回定例議会が開催されます。どなたでも、自由に傍聴することができます。

議会開催日については、議会事務局に電話（25-2141 内線410番）でお問い合わせください。



議会だより191号をお届けします。

国政では首相が9月25日に記者会見を開き28日召集の臨時国会で衆院解散、10月10日公示22日投票日となりました。

新たに皆様から選ばれた国

議員により国政が運営され

ていくこととなります。

さて、今年も全議員が各地区を訪問させて頂き、議会の報告、ご意見をうかがう「議会報告会」の時期がやつてま

ります。今年は日中開催も

いたしますのでお誘いあわせ

の上お越しください。

